

庄原市「子どもたちと多世代の集いの場」整備事業内容の見直しについて

1. 趣旨

「子どもたちと多世代の集いの場（以下「集いの場」という。）」整備事業について、令和7年8月21日開催の議員全員協議会において、見直し方針を表明し、内容の再検討を行うとしていた。その方針転換に至った理由及び整備内容案について、次のとおり報告する。

2. 令和7年度の事業実績

(1) 繰越明許費

単位:千円

費目	予算額	執行済額	内容
1203 調査測量設計監理等委託料	17,290	550	ベビールーム新築基本設計業務委託
		6,829	ウッドデッキ外基本設計業務委託
1401 工事請負費	8,623	0	令和7年度下半期において契約予定
合計	25,913	7,379	執行残 18,534 千円は駐車場工事費として執行

(2) 現年予算

単位:千円

費目	予算額	執行済額	内容
1203 調査測量設計監理等委託料	987	0	工事監理業務委託
1401 工事請負費	291,676	0	駐車場・遊具・付帯設備等整備工事費
1701 備品購入費	2,077	0	付帯備品整備費
合計	294,740	0	

3. 見直しの検討経過

(1) 近隣施設との比較検討

- 「集いの場」整備事業は、大型遊具の整備など週末のレジャー的要素も盛り込んだ子育て支援策として進めることとしていた。
- しかし、遊具を備えた子育て支援のための公園施設として、近隣の同種の施設（国営備北丘陵公園、みよし運動公園あそびの王国ほか）と比較した場合、「集いの場」は小規模であり、その効果は限定的と判断した。

(2) 子育て世代の声

- 子育て世帯へのアンケートでは、市内中心部に「平日ふらっと立ち寄れる公園」を望む声が寄せられている。
- 近隣施設との差別化を図る意味でも、平日の普段使いを想定し、子育て世代が安心して日常的に利用できる場所を整備することがより効果的と考える。

(3) 必要な設備更新

- 芝生広場に既設の複合遊具等については、上野総合公園を訪れる親子の多くが利用している。これらの遊具については、必要な点検・補修を行い、安心して利用ができる状態を維持しているが、整備後20年近くが経過し、適切な改修が必要である。

- 駐車場の台数の拡充はこれまでも要望が多く、利用者のニーズは高い。
- さらに、近年の酷暑が続く気象状況を考慮すると、安全に施設が利用できる設備を備えることが必要と考える。

以上の検討を踏まえ、「集いの場」は、近隣施設との機能の差異を明確化し、既存の老朽化した遊具のリニューアルに加え、子育て世代のニーズに応え、日常使いの中で安心して子どもを遊ばせられる場所として再定義し、必要な整備を行うこととする。

4. 整備内容の検討案

(1) 具体的な検討案

- 現臨時駐車場に予定していた大型遊具の整備は中止する。
- 芝生広場の複合遊具を更新し、新たに乳幼児専用遊具エリアやインクルーシブ遊具を配置するエリアを、既存遊具エリアに近接して整備する。
- 主に夏季の日差し対策として、大型屋根やパーゴラなど、安全に配慮した設備を整備する。
- 駐車場については、計画どおり約 50 台分のスペースを新たに確保する。

なお、具体的な配置や遊具の仕様については、今後プロポーザル方式により決定する。

(2) 予算の見直しについて

単位:千円

内容	予算額
総事業費	145,571

関係の令和7年度予算について、令和7年12月開会予定の定例会において、事業費の減額及び繰越明許費に関する補正予算案を提出予定である。

5. 想定スケジュール

令和7年12月	公告準備
令和8年1月	公告
3月	業者決定・契約
4月	設計・施工着手
令和9年3月	工事完了
4月	供用開始